



多読学習の効果、看護学生と異文化理解

【キーワード：英語、多読学習、異文化理解】

領域・氏名

普遍分野（個の尊重と看護）教授／ 川北直子

概要

看護系大学生を対象とする英語教育のあり方の向上を目指した研究のほか、早期学習者(幼児・児童)から大学までの多読学習の長期継続による成果や、語彙に関する研究をしています。

具体的な内容

看護学生を対象とした研究では、英語と異文化理解を統合した授業のあり方、海外研修によって看護系大学の学部学生が何を学べるのかについて、洋書読書を通じた学習の意義・効果・課題について分析し、教育の改善に取り組んでいます。また、小中高校生と大学生一般を対象とした多読学習への導入と長期継続による効果について、語彙分析と学習者分析の視点から研究しています。学習者の個別性による課題を見出し支援できるよう、学習者1人1人をそれぞれ6-10年程度観察し続けています。

Information (情報)

小中学生を中心とした週末英語活動を行っています。英語読み聞かせ・多読学習への導入など、関心があれば見学にいらしてください。（現在はCovid-19のため、オンラインで継続中）